

ボイラーを起因物（小）とする死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	業種 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	7	20~21	客先ボイラ室にて、3号ボイラのメンテナンス中、モーター交換後の試運転時に何らかの原因でガス漏れが発生し、火災が発生したと考えられる。（現在調査対応中）	56	80209	14	10 ～ 29
2017	7	8~9	工場内2号機で始動のためワックス布を通しての時つまったので取り除こうとロールとホルダーの間に入り布を引っぱった時体勢が整っていなかったためロール下の蒸気配管に接触し火傷するに致った。たいしたことはないと思ひ、そのままにしていたが腫れが広がってきた。	48	11703	11	100 ～ 299
2017	10	11~12	工場内でのボイラー清掃作業において点検口から点検口用ステージに出た後フロアーに降りる際、梯子を使用せずに下降した。その際転倒し、フロアーに置いてあるコードリールに左胸部を打ち肋骨を骨折した。	61	30309	1	1~ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_06.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html)